※令和３年度以前入学生用

学校番号	1004

令和５年度　音楽科

教科	音楽	科目	ソルフェージュ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

楽譜を読むことを中心とした学習を行います。楽譜に書かれている音楽を読み取る、聞き取る力を身に付けることで、どのような演奏をしたら良いのか分かるようになります。
譜読みができるようになれば、多くの曲を楽しむことができます。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽の身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、演奏を解釈し、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４ 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	リズムを楽しむ	**【創作】** リズムのしくみ リズムを作ろう **【歌唱】【器楽】** リズムアンサンブル	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○		a:様々な表現形態による歌唱や器楽の特徴、音楽を形づくっている要素の働きに関心をもち、学習に主体的に取り組もうとしている。 b:リズムを形づくる要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c:様々な表現形態による特徴や創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
2学期	音を読む・聴く・書く	**【歌唱】【器楽】** メロディーを演奏しよう 楽譜に書き取ろう	○ ○	○ 	○ ○		a:曲種に応じた発声や楽器の音色や奏法の特徴に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、発声や楽器の音色や奏法を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: 曲種に応じた発声や、楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
3学期	アンサンブルを楽しもう	**【歌唱】【鑑賞】** ヴォーカルアンサンブル	○	○	○	○	a:曲想や楽曲の背景との関わり、声と音色の特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、学習に主体的に取り組もうとしている。 b:リズム、強弱、旋律などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 様々な表現形態による特徴を生かし、音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付け、創造的に表している。 d: リズム、強弱、旋律などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、表現上の効果との関わりを感じ取って、楽曲や演奏を解釈したり、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 演奏聴取

※令和３年度以前入学生用

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の３観点で、「鑑賞」の分野は a, d の２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。